

事務事業名		市政功労者表彰事務		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		秘書課		事業種別	経常	開始	S42	終了	
H28係等名		秘書係		H27係等名		秘書係			
基本計画上の位置づけ		政策	9	市民と共に進める行政経営					
		施策	91	市民参画による協働の促進					
目的	対象(誰・何を)	市政に貢献した人					指標名及び単位	27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	市として感謝の意を示す					対象指標	56	
	向上させたい上位施策の成果指標	協働のまちづくりが進められていると感じる市民の割合							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	受賞者(件)			40	56	50	-	
	定性目標								
事業概要	市政功労者に対して功労を称えるため、表彰状または感謝状を授与する式典を開催するもの								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	市政功労者表彰 (1) 表彰式期日 10月1日実施 (2) 被表彰者調査 (3) 市政功労者審査委員会				市政功労表彰者		56件		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		969	1,073	1,073	1,020				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		969	1,073	1,073	1,020				
人件費計(千円)②		1,073		1,073					
正規職員所要時間		300		300					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		2,042	1,073	2,146	1,020				
事業内容・目標達成状況の振り返り	市民協働を推進する観点から平成26年度に表彰規則の見直し、基準の緩和を行い、平成27年度では感謝状の交付基準に「その他枠」を新設して、その対象を広げることができた。また、表彰内容を広報することで、市民協働によるまちづくりを市民に伝えることができた。								
改革改善の考え方	①問題点	表彰対象を広げたことで、数年間は以前より多くの表彰者となる。また、新庁舎建設に伴う寄贈等があり、感謝状対象者も増となっている。							
	②改革提案	表彰式の質素化を図りつつ、必要な予算は計上していく。							